

第1回佐賀市高齢者福祉サービス検討委員会

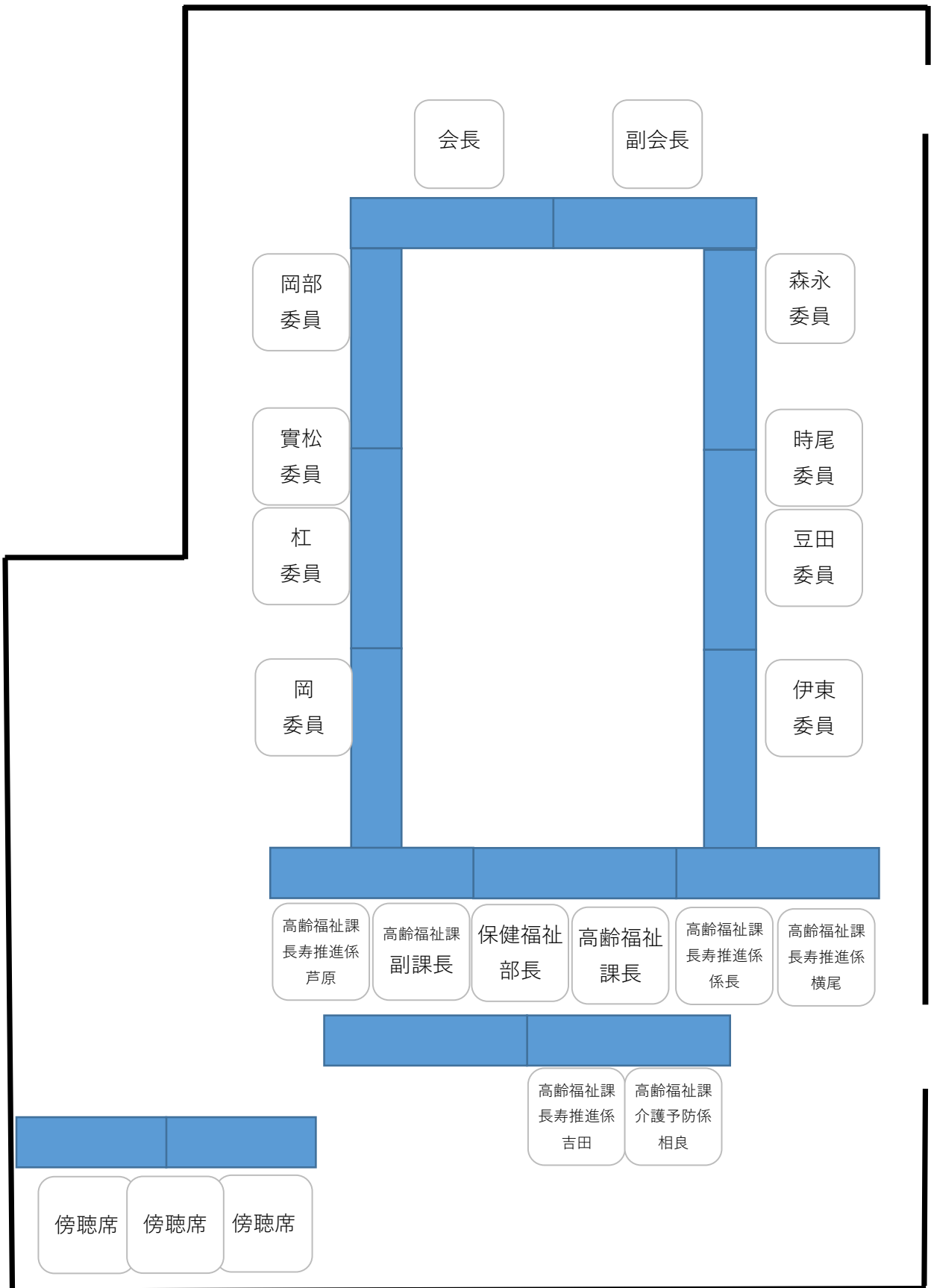
令和7年10月28日（火）10時～
ほほえみ館 2階 ボランティア室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 事務局紹介
- 6 会長・副会長選出
- 7 高齢者福祉サービス検討委員会の概要説明
- 8 議 事
 - (1) 地域における高齢者福祉サービスについて
 - (2) その他
- 9 閉 会

佐賀市高齢者福祉サービス検討委員会委員名簿

No.	団 体 名	役職	氏名
1	西九州大学 健康福祉学部社会福祉学科	准教授	おかべ ゆきお 岡部 由紀夫
2	医療法人信愛整形外科医院	理事長・院長	もりなが ひでかず 森永 秀和
3	おたっしや本舗	認知症地域支援推進員	さねまつ あやこ 實松 礼子
4	佐賀市老人クラブ連合会	体育副部長	ときお くみこ 時尾 久美子
5	佐賀市民生委員児童委員協議会	監事	ゆずりは ひろふみ 杵 裕文
6	佐賀市社会福祉協議会	大和老人福祉センター所長	まめだ ゆきむら 豆田 幸村
7	老人福祉センター利用者		おか みつこ 岡 美津子
8	公募		いとう かつゆき 伊東 勝之

令和7年度第1回高齢者福祉サービス検討委員会 会場レイアウト



佐賀市高齢者福祉サービス検討委員会設置要綱

(設置)

第1条 高齢者が健康を維持し、生きがいを持って住み慣れた地域で充実した生活を送ることができるよう、地域における高齢者福祉サービスのあり方を検討するために、佐賀市高齢者福祉サービス検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、サービスの見直しに関する事項について検討、協議する。

(組織)

第3条 委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、各種関係機関の代表者等のうちから、市長が委嘱する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、委嘱の日から令和8年3月31日までとする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により選出する。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、必要に応じて委員長が招集し、その会議の議長となる。

2 委員長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、保健福祉部（高齢福祉課）において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附則

この要綱は、令和7年9月1日から施行する。

第1回 高齢者福祉サービス検討委員会

令和7年10月28日(火) 10時～ ほほえみ館ボランティア室

- 1 開 会
- 2 委嘱状交付
- 3 あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 事務局紹介
- 6 会長・副会長選出
- 7 高齢者福祉サービス検討委員会の概要説明
- 8 議 事
 - (1)地域における高齢者福祉サービスについて
 - (2)その他
- 9 閉 会

高齢者福祉サービス検討委員会の概要

【設置目的】

高齢者が健康を維持し、生きがいを持って住み慣れた地域で充実した生活を送ることができるよう、地域における高齢者福祉サービスのあり方を検討する

【検討事項】

- 地域における高齢者福祉サービス(介護保険サービスを除く)のあり方
- 地域における高齢者の交流及び社会参加の場のあり方

【期間】

令和8年3月まで(期間中に3回の開催を予定)

佐賀市内で実施している高齢者福祉サービス、活動

元気

高齢者の状態像

要介護

高齢者福祉サービス検討委員会で検討

地域での団体活動

- ・老人クラブ
- ・老人福祉センター事業
- ・趣味、ボランティア活動

介護予防

- ・元気アップ教室
- ・高齢者ふれあいサロン

「地域」での「社会参加」「交流」を通して
高齢者の生活を支えるサービス

- ・安否確認事業
 - ・軽度生活援助 など
- 個人の在宅生活を支援するサービス

介護保険

- ・デイケア
- ・デイサービス
など

高齢者保健福祉計画
策定委員会で検討

会議開催スケジュール(予定)

第1回
R7.10.28

- 高齢者福祉サービス検討委員会の概要
- 地域における高齢者福祉サービス

第2回
R7.12月

- 地域で求められているサービス
- アンケート結果報告

第3回
R8.2月

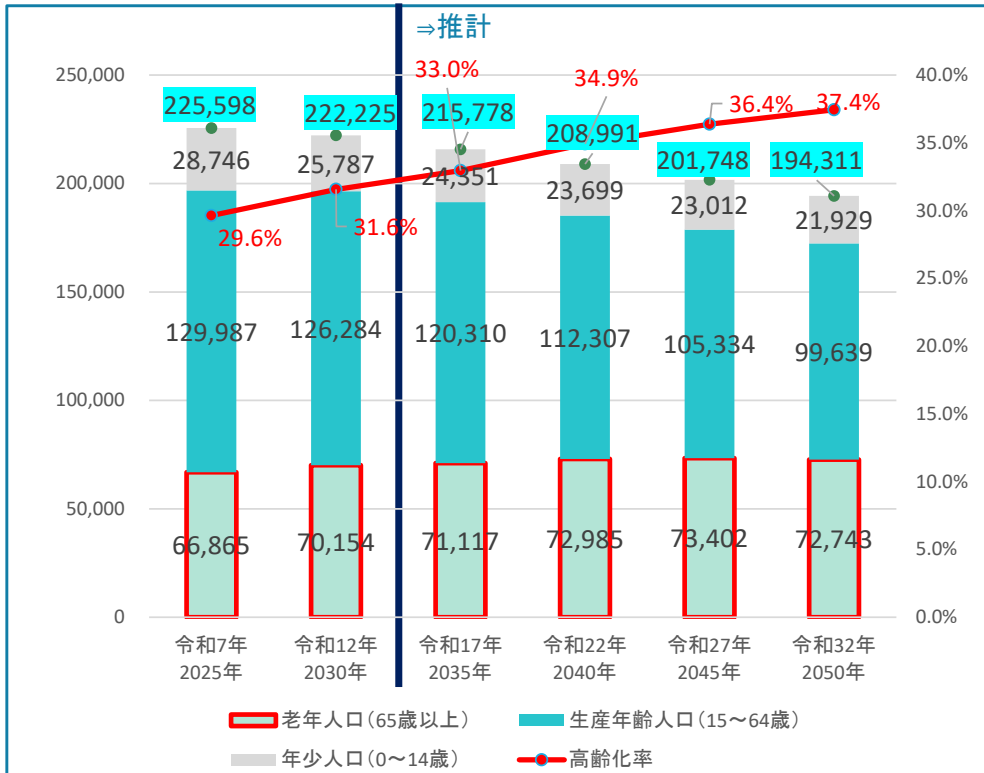
- 今後の地域でのサービスのあり方
- 今後の施設のあり方

議事

(1)地域における高齢者福祉サービスについて

高齢者の状況 (佐賀市の人口、世帯)

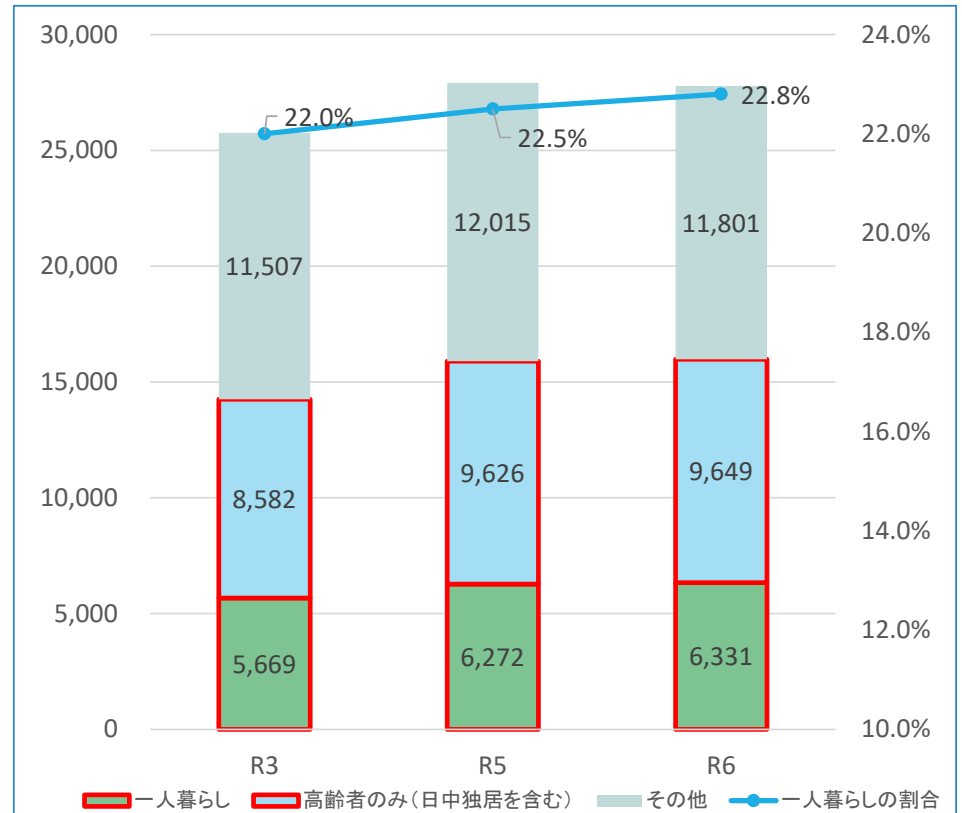
佐賀市の人口推移(人)



出典: 令和7年▶市ホームページ(R7.8月末)
 推計▶国立社会保障・人口問題研究所
 「日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計)」

人口減少とともに、2050年には高齢人口も減少の見込み

佐賀市の75歳以上の世帯状況



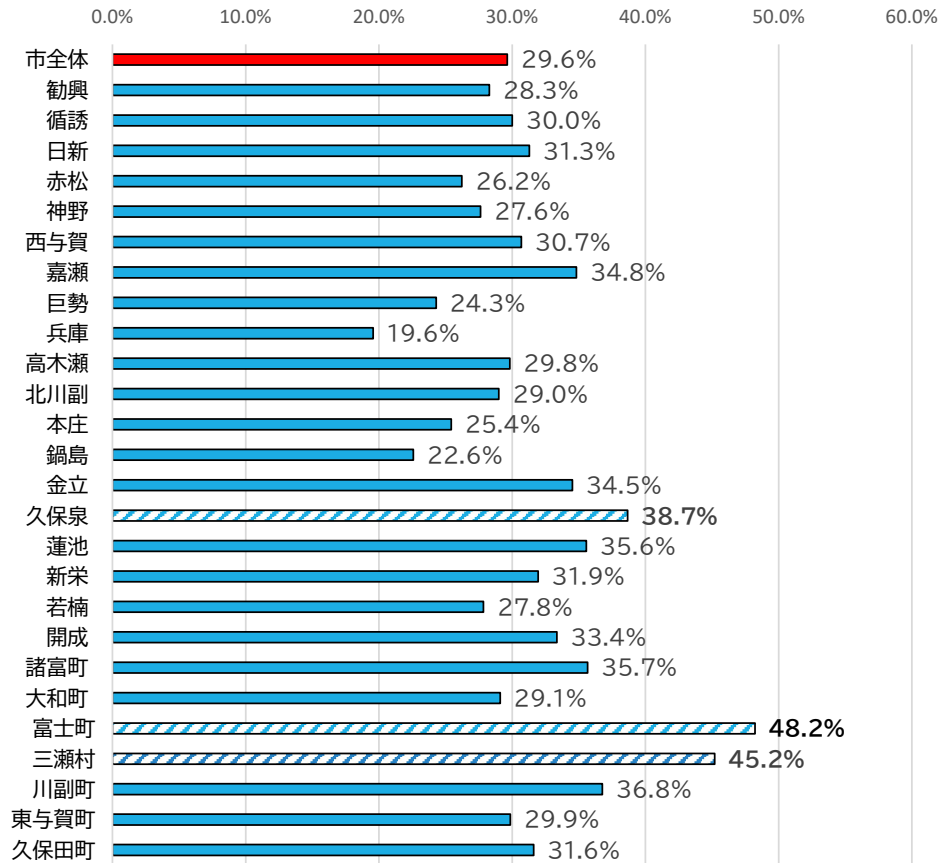
「佐賀市高齢者高齢者実態調査(在宅の65・70歳以上の方の実態調査)」

一人暮らし、高齢者だけで暮らす割合が増えている

高齢者の状況 (佐賀市校区別の高齢化率、世帯)

校区別の高齢化率

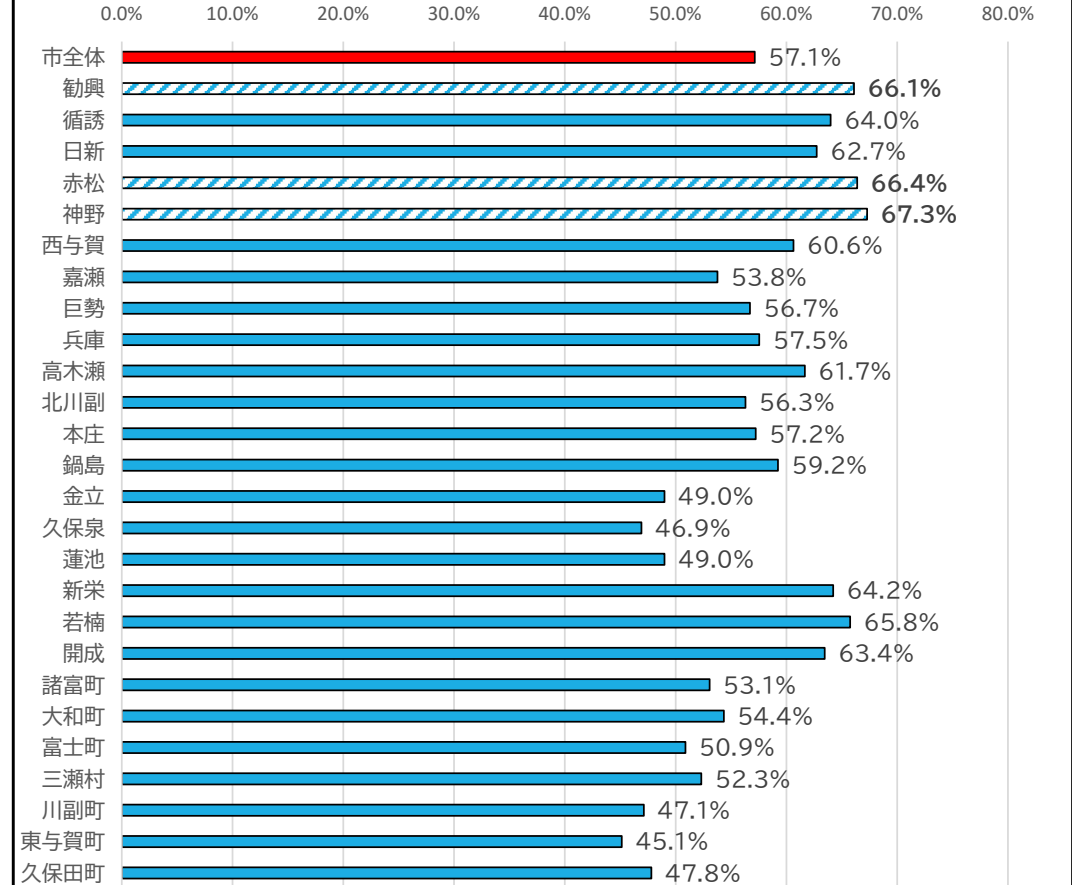
出典: 校区別年齢別人口統計表 市ホームページ(R7.8月末)



山間部の高齢化率が高い傾向がある

単身世帯及び高齢者のみ世帯の割合

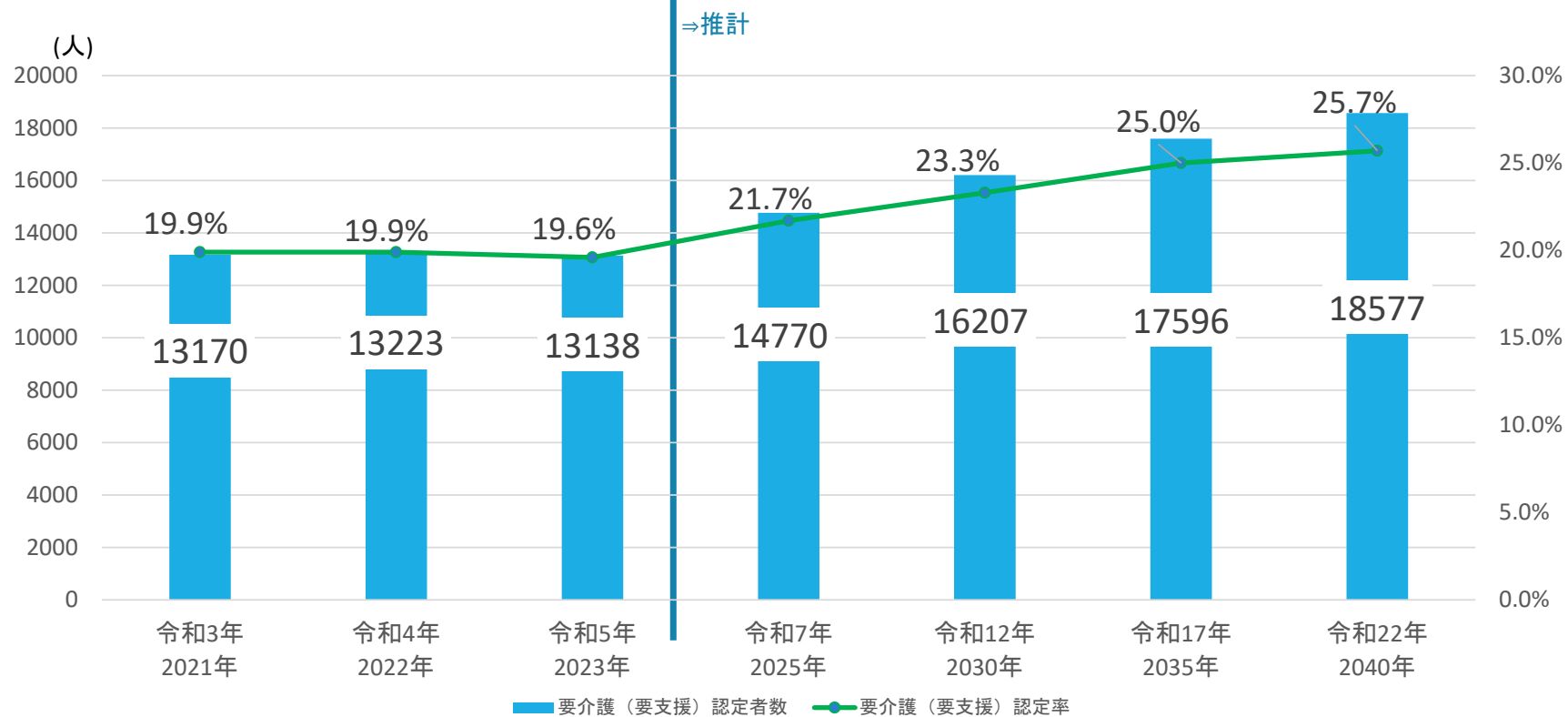
出典: 「在宅の65歳以上の方の実態調査」令和5年度 佐賀市高齢福祉課



「まちなか」が高齢者のみ世帯の割合が高い

高齢者の状況(佐賀市の要介護認定者)

佐賀市の要介護(要支援)認定状況



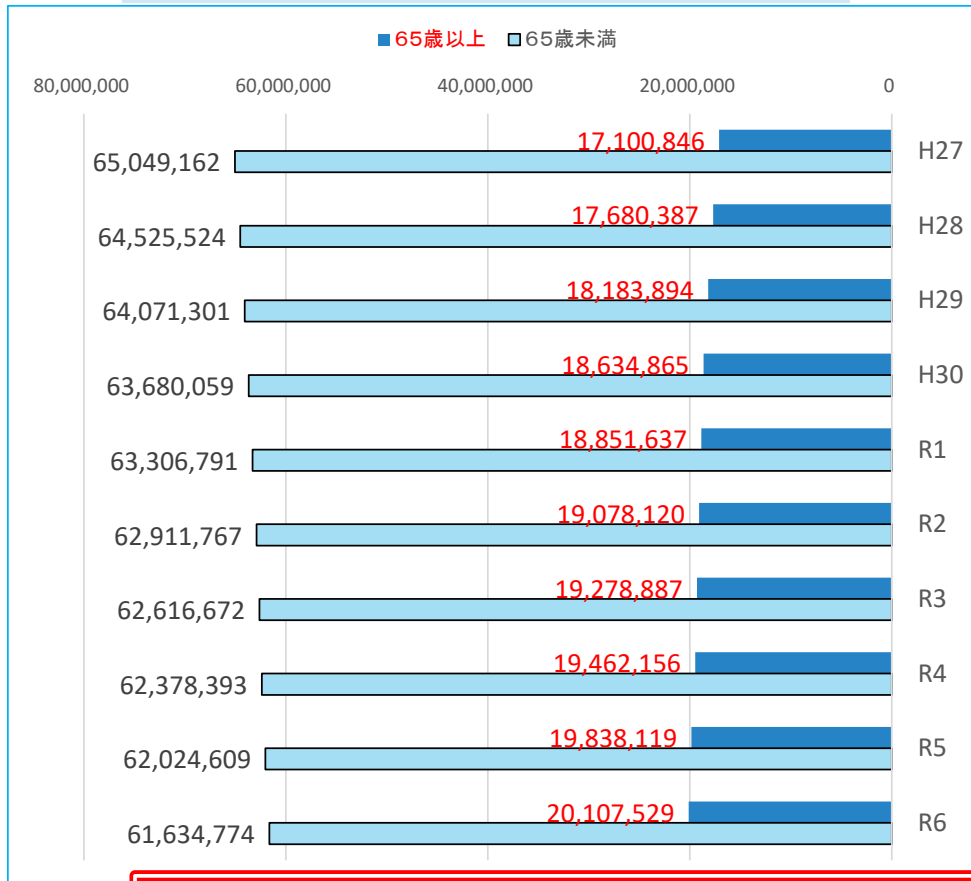
出典: 令和6年度~令和8年度 佐賀市高齢者保健福祉計画

高齢化率とともに、支援が必要な高齢者も増加の見込み

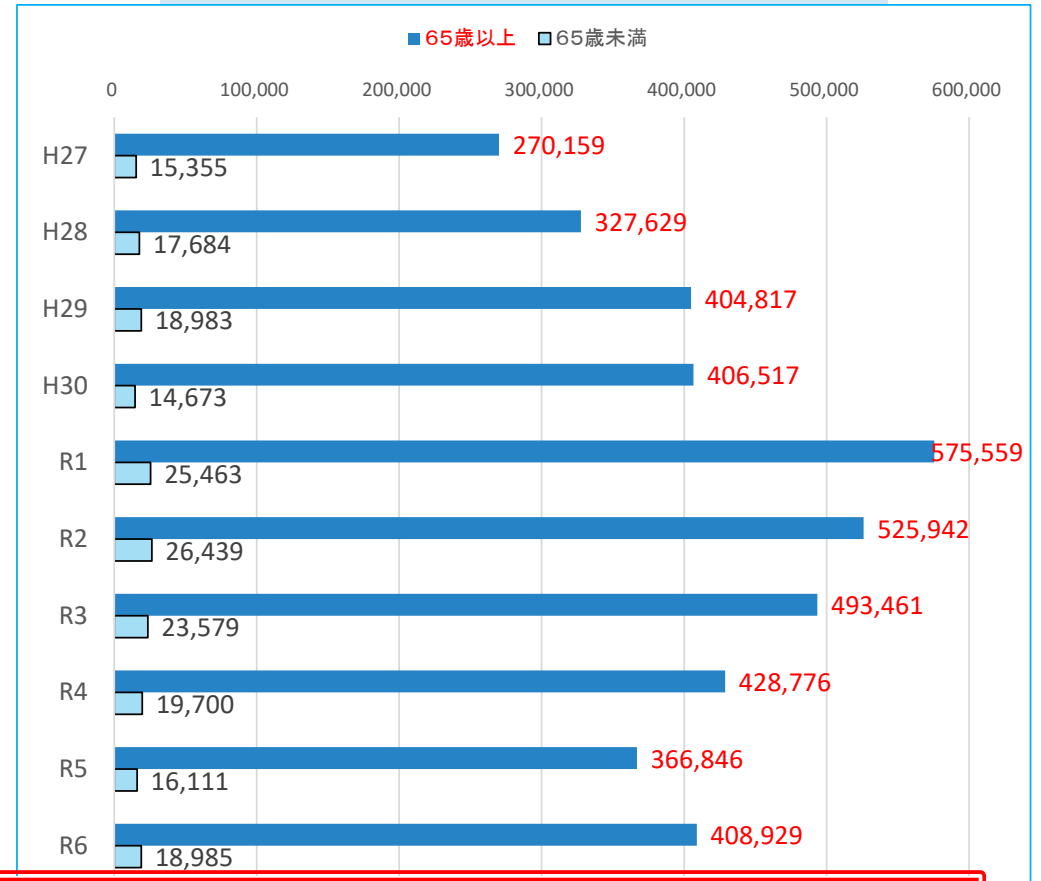
高齢者の状況 (全国の運転免許に関するデータ)

出典：警察庁「運転免許統計」

運転免許の保有数



運転免許の申請による取消件数



全国的に、運転免許を保有する65歳以上は、高齢化率の上昇に伴って増加傾向。一方、申請による取消者のほとんどが65歳以上。

佐賀市のめざす姿

佐賀らしさで
みんなが
上を向くまち

第3次佐賀市総合計画
2025-2040

02 健康・福祉

健康やかに、幸せに満ちたまち

いつまでも健康やかに、幸せに満ちたまちでありたい。それを実現するためには、どんな人もお互いにつながり、支え合う地域共生社会を築くことが大切です。みんなが健康で、それぞれの役割を持ちながら参加し、生きがいを感じられる地域をもとにつくっていくまちを目指します。

2040年を目指す市民等の姿

1 市民一人ひとりが生きがいや役割を持ち、地域で世代を超えたつながりの中で暮らしている。

- みんなが地域づくりに参加できること
- 多様な世代が
- 健康が

2 市民は自ら健康づくりに取り組み、いきいきと暮らしている。

- 多くの人が健康を意識し、自分の健康状態を知ろうとすること
- 健康に貢献心をもった人が行動を実践すること
- どこにおいても健康を奨励される体制があること

多様な手段による相談の受け止めや支援体制があること

- どこに相談してもよいか分からない方や複合化・複雑化した相談を抱える方に対し、アウトリーチなど多様な手段による相談の受け止めや、得意分野を得意とする専門職を配置します。
- 多様な相談ニーズへの適切な対応や、生活や就業などの課題を解決する取組を進めるため、行政や各種市民支援機関等とのネットワークを強化し、包括的な支援を推進します。

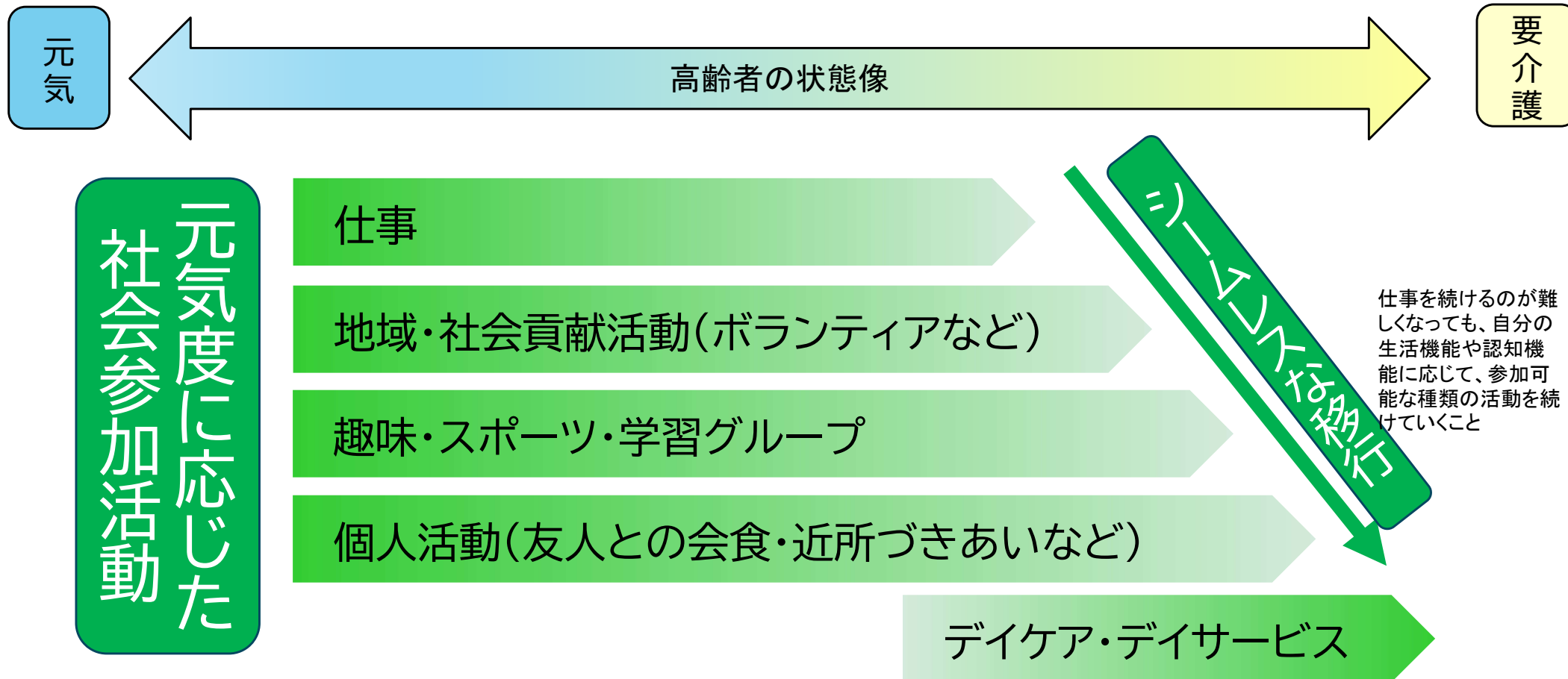
福祉サービスにつながる修習や研修があること

- 高齢・障がい福祉等への新たなテクノロジーの導入等について関係機関と連携して取り組むとともに、人材育成等も支援し、安定した福祉サービスの供給を行えるようにします。
- 多様な活動や多様なコミュニティケーションの手段を工夫させ、福祉に関する情報を必要としている人に届ける工夫を進めます。

健康支援課、地域福祉課、地域福祉推進課、高齢者支援課、障がい者支援課

市民一人ひとりが
生きがいや役割を持ち、
地域で世代を超えた
つながりの中で暮らしている

自分らしく自立した生活のために 何が必要？



出典: 藤原佳典(2014)高齢者のシームレスな社会参加と世代間交流・ライフコースに応じた重層的な支援とは. 日本世代間交流学会誌. 4:17-23. 国立研究開発法人)国立長寿医療研究センター「あたまとからだを元気にするMCIハンドブック」

老人クラブ

おおむね60歳以上の方を対象とした、地域を基盤とする自主的な組織。「健康」「友愛」「奉仕」の三大運動を中心に取り組んでいる。

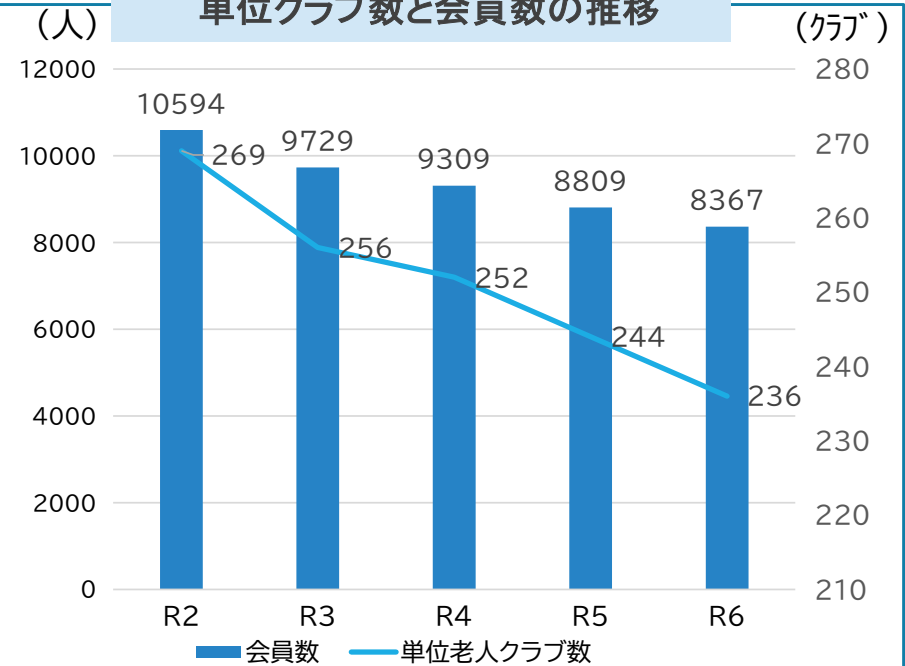
各クラブの活動内容

- ◆友愛訪問・清掃奉仕活動
友愛・訪問活動、地域の清掃活動、花壇整備など
- ◆地域見守り活動
登下校時の見守り活動、小学生との交流など
- ◆教養講座
研修会、出前講座、料理教室など
- ◆スポーツ活動
校区スポーツ大会、ニュースポーツ(グラウンドゴルフ、ペタンク等)など
- ◆その他
会報作成、誕生会、校区の行事への協力・参加(防災訓練、文化祭等)、旅行など

各クラブの活動場所

自治公民館、スポーツ大会については各グラウンド等

佐賀市老人クラブ連合会に所属する 単位クラブ数と会員数の推移



**会員数とクラブ数ともに減少傾向。
65歳以上人口に対する会員数の割合は11.57%(R7.4.1時点)**

いきがい館(老人福祉センター事業)

老人福祉法にもとづく、老人に健康で明るい生活を営ませることを目的として設置された施設。

施設別事業内容、年間利用者数(のべ人数)

	事業内容(R6事業報告より)	R6年度 利用者数
全施設	生活・健康相談、クラブ活動	66,689
巨勢	教養講座(22回)、入浴施設(週4日)、 作品展示、囲碁大会	16,893
開成	入浴施設(週5日)、タブレット貸出	6,482
大和	教養講座(16回)、福祉避難所	6,155
金立	教養講座(17回)、入浴施設(週4日)、 作品展示、発表会、囲碁大会	6,920
平松	教養講座(1年生:37回、2年生:37回)、 入浴施設(週4日)、各クラブの発表会	30,239

利用時間:9時から16時まで。休館:日曜、祝日、年末年始
利用するには、登録が必要。

位置図



地域での介護予防教室

センター版元気アップ教室

65歳以上の要介護認定を受けていない方で、介護予防プログラムへの参加が望ましい方を対象とした、送迎付きの教室(週1回、2時間程度、16回)
ダンベルを使った運動、お口の健康体操、栄養指導、認知症予防の脳トレなど

		R2	R3	R4	R5	R6
教室数(か所)		24	25	23	23	23
実参加者数(人)		260	262	264	273	286
平均年齢(歳)		82	82	83	83	83
最高齢(歳)		95	95	95	96	97
会場内訳	いきがい館	8	8	6	6	5
	保健センター	5	7	7	7	7
	校区公民館	5	3	3	5	6
	支所	1	2	2	0	0
	コミュニティセンター	3	3	3	3	3
	民間介護事業所	2	2	2	2	2

脳いきいき健康塾 自主グループ

65歳以上の要介護認定を受けていない方を対象とした自主グループ活動。
週1回、仲間との交流と学習(読み書き・簡単な計算)、毎日10分程度の自宅学習
※一部、ダンベル体操や音楽を同時開催している教室もある

		R6
教室数(か所)		12
実参加者数(人)		72
平均年齢(歳)		82.4
最高齢(歳)		98
会場内訳	いきがい館	3
	保健センター	1
	校区公民館	3
	その他公共施設	5

地域版元気アップ教室

65歳以上のグループを対象とした元気アップ教室(週1回、2時間程度、16回)
地域の自治公民館等で開催し、教室終了後は、自主的グループとして活動を継続。
ダンベルを使った運動、お口の健康体操、栄養指導、認知症予防の脳トレなど

	R2	R3	R4	R5	R6
教室数(か所)	4	7	9	4	4
実参加者数(人)	66	93	135	62	79
平均年齢(歳)	74	78	76	77	79
最高齢(歳)	90	93	90	93	91

体操主体の自主グループ

地域版元気アップ教室を終了した団体が、おおむね週1回、チューブ体操やダンベル体操を行っている。

実施会場 計121か所 (R7.4.1時点)

自治公民館	91か所
校区公民館	21か所
いきがい館	2か所
その他の公共施設	6か所
寺	1か所

終了後、
自主的に
活動



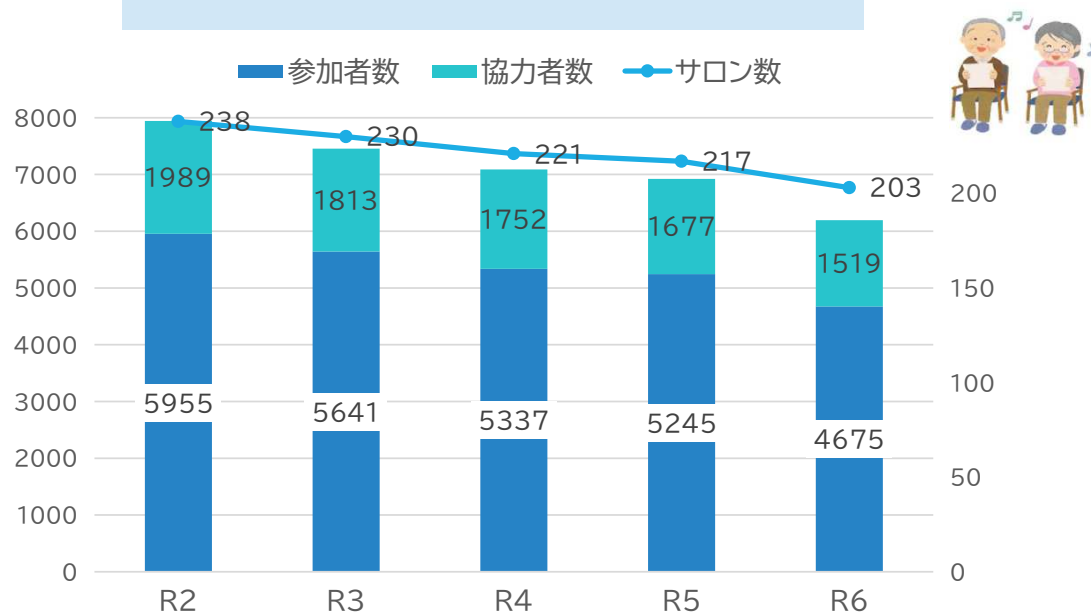
いきがい館や校区公民館などの公共施設、地域の自治公民館などで開催。参加者の平均年齢が高い。

高齢者ふれあいサロン

高齢者の社会的孤立感の解消及び自立生活の助長を図るため、地域ボランティア等の協力のもと、家に閉じこもりがちな方に対して、月1回程度、活動が行われている。

・健康増進活動 ・創作活動 ・娯楽活動 など

高齢者ふれあいサロンの推移



参加者の性別、年齢(R6年度)

年齢	64歳以下		65～74歳		75歳以上		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	計
対象者	3	14	284	454	1,031	2,731	1,318	3,199	4,517
協力者	61	133	168	413	222	469	451	1,015	1,466

実施会場(R6年度)

自治公民館	174
校区公民館	12
いきがい館	0
その他の公共施設	2
公園、寺、神社、店、個人宅	15

参加者数、協力者、サロン数ともに減少している。
女性の参加者が多く、対象者・協力者はそれぞれ75歳以上の方が最も多い。

(2)その他

高齢者福祉サービスに関するアンケート(次回会議で結果報告予定)

【対象者】

- ・佐賀市インターネット市政モニター
- ・佐賀市老人クラブ連合会会員の方

【質問概要】

- ・65歳以降も健康を維持するために必要なこと
- ・地域で65歳以降も元気に過ごすために必要な行政サービス
- ・講座や教室などの機会で、「学びたい内容」
- ・移動で困っていること
- ・65歳以上の方にとって、通いやすい場所
- ・いきがい館の利用状況

佐賀市シニア活動マッチングサイト

いくよう を使ってみよう!

ご利用
無料

いくようは、活動したいシニア世代と、
参加者を募る活動を**マッチング**する、WEBサービスです。
かんたんに**仕事**や**ボランティア**などの活動を探せます。

WEBからの
ご利用



LINEからの
ご利用



いくよう

検索



ご利用方法は裏面へ→



活動例



仕事

商品陳列、清掃など



ボランティア

デイサービス手伝い、地域活動



まなび

介護予防教室など

気になる
内容で
探せるから
便利♪



シニア
サポート
窓口

いくようの利用に不安がある人は、対面での相談も受け付けています。質問、困りごとなど、お気軽にお尋ねください。

☎0952-37-1031

場所／佐賀市兵庫北3丁目8番36号 佐賀市ほほえみ館2階 シルバー人材センター内
時間／月曜～金曜9時～17時(祝日、年末年始は休み)

事業者さま
窓口

お仕事やボランティアの掲載に関するお問合せは

月刊ぷらざ佐賀 ☎0952-34-5151

65歳以上の方も参加できる
活動をお寄せください。

制度の運用
に関する
お問合せは

佐賀市らしさでみんなが上を向くまち



佐賀市

高齢福祉課 介護予防係

☎0952-40-7256 FAX 0952-40-7393



おすすめポイント

- ★自分の予定に合わせてスキマ時間に活動できる
- ★佐賀市が内容を確認しているから安心
- ★自宅近くの活動を探しやすい



シニア世代

閲覧申し込み



活動の紹介



佐賀市シニア活動マッチングサイト
“いくよう”

登録



人材の確保



事業者
仕事・ボランティアなど

WEBからのご利用方法

スマートフォンやパソコンから、簡単に活動に参加ができます。

いくよう

検索



WEB

はじめに

佐賀県佐賀市を選ぶ



地図から探したり、
カテゴリを絞ることもできます

1

好きな活動を選ぶ



興味のある活動を選び、
詳細・申込みをタップします。

2

参加を申し込む



この活動への参加を
申し込むをタップします。

3

必要な情報を入力



フォームに沿って、参加者の
情報を入力します。

「いくよう公式LINE」を友だちに追加して活動に参加しよう!

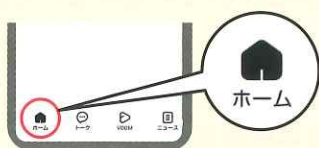
1

LINEアプリを起動



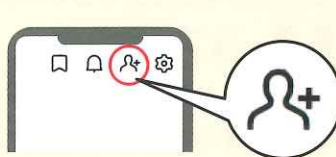
2

ホームアイコンをタップ



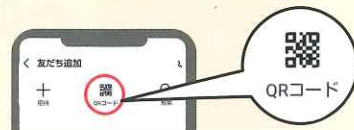
3

友だち追加をタップ



4

QRコードのアイコンを
タップし、カメラを起動



5

こちらのQRコードを
読み込み「追加」をタップ



LINE



6

「いくようはこちらから」を
タップ



7

許可する

8

参加したい仕事や活動を選
んで参加を申し込む

